2023.08.27

1. 外 観

おもちゃ名は「RC カー ラージモンスター トラック」で、 STSEEACE 製で 2022 年に販売されました。



2. 特 徵

高品質の原材料により、オフロードトラックとしてより頑丈で耐久性があります。ボディは高品質のABS ソリッド素材でできており、高い弾性と耐衝撃性を持っています。

スタイリッシュなエアロダイナミック形状で、前後左右に回転し、コントロールしやすい機能を備えています。強力なエンデュランス機能により、速いスピードと印象的な登坂力を実現できます。

大きさは長さ50×幅30×高さ27cmと、実物の1/10であり、2.4GHzフルスケール同期リモートコントロールシステムを搭載し、リモートコントロールカーは、比例スロットル制御のための速度スイッチで制御することができ、比例ステアリングは、ステアリング微調整とリバースステアリングスイッチで制御することができます。サスペンション防振システム:各ホイールにはハイスプリングコイルスプリングが採用されており、優れた衝撃吸収効果とより安定したドライブを実現し、振動による損傷を効果的に防ぎます。

3. 故障

オフロードトラックとしてラフな使い方をされるので、機械的な損傷が多く、衝撃による電気部品の 故障もあり得ます。また車高が高いとはいえ、川辺や水たまりの走行で水の侵入や浸透により、電気部 品が故障することもあります。

今回の故障は、リモコンで前進・後進を指示して後輪が回転しない故障です。

4. 原 因

分解と修理過程で分かったことは、

モータの整流子が<mark>荒損</mark>しています。 → 経時劣化あるいは寿命。

対応は、

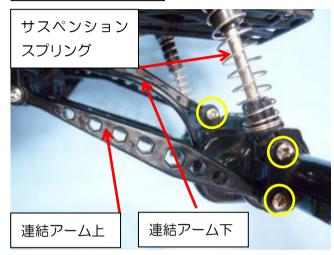
・モータを分解し、汚れた整流子をアルコールで取り除き、黒く酸化し荒損した整流子を、#1000の 紙やすりを当て、回転させて研磨し、再びアルコールで奇麗に掃除します。

5. 修 理

(1) 左右後輪を外す

左右の車輪から、〇印のネジ (タッピング 3X10) 各1 本を外します。

(2)連結アームの外し

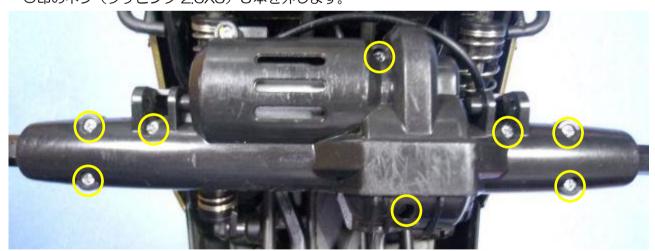




側面から、サスペンションスプリングと連結アーム上、そして連結アーム下を留めている〇印の特殊段付きトラスネジ(高さ 16、ネジ部タッピング3X6)を左右から各1本、計6本を外します。

(3)後輪駆動ユニットの分解

〇印のネジ(タッピング 2.6X5)8本を外します。





後輪駆動ユニットのケース内には、モータとギア が3個入っています。

(4)故障の要因の切り分け

後輪が回転しない原因には、制御プリント基板の後輪モータ出力がない故障と、後輪モータ単品の故障の2つが考えられます。

(a)制御プリント基板の後輪モータ出力の確認 モータ出力のリード線を2本外し、リモコンから 前進と後進の操作をします。

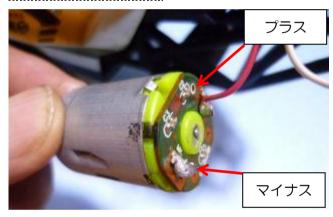


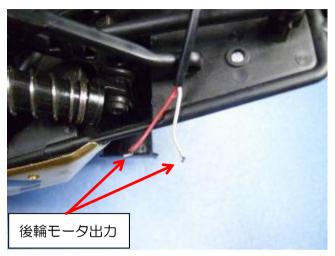
(結果) 前進の時は、赤色リード線側に7.4V、後 進の時は白色リード線に、7.4Vありま す。



正常。

(b)後輪モータの確認





モータの端子の赤色リード線側に、外部電源3Vのプラスを、元白色リード線側の端子にマイナスを印加します。



(結果) 全く回りません。

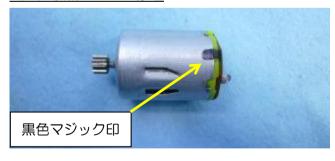


これが故障の原因。



修理します。

(4)後輪モータの修理



モータ組み戻し時に、モータケースとエンドベル キャップの位置関係が変わらないように、黒色マジックでマーキングをします。

(a)ギア

分解時と組み戻し時、作業がし易いようギアをギ アプーラーで外しておきます。



(b) モータケースの外し

モータケース(ハウシング)のエンドベル側の2か所の折り曲げ爪を、約2.5mm幅のマイナスドライ バーの先で起こします。

シャフト付ロータとエンドベルを同時に外に引き出します。





(c)整流子とブラシの確認

整流子の周りに黒い酸化物?スパーク跡?があり、更に少し凹凸の条痕があります、これが整流子の 荒損でしょうか? アルコールで拭きましたが一部の黒い汚れがとれたくらいです。





アルコールで洗浄



この状態でモータケース内に組込み、DC3Vを印加します。1/5回は電源を入れても回りません。 更に改善をすべく#1000 紙やすりを小さく切って、整流子を研磨します。その後アルコールで丁寧 に拭きます。





接点の接触を良くするため、電気接点用グリスを探しましたが、AMAZONでは販売されていません。時々DC モータを分解して見かける、黄色くて粘度があり、長期使用で黒くなったグリスは業務用のメーカ専用でしょうか?

接点グリスは導電性グリスと正反対に電気絶縁性であることです。これはグリスに導電性があると、接点が離れても電気が流れてしまうからです。

TAMIYAの「接点グリス87023」の名前と、RCカーの機械式スピードコントローラーに最適、またYoutubeに接触が良好になる結果があったので、惹かれて購入しましたが、良く調べると使うのは好ましくないようです。結局何もつけないのが正解です。

整流子を奇麗にしてモータケースに組み込むと、



(結果) 正転・逆転共に順調に切り変わります。入切りしても停まることはありません。

これで、原因追及と 修理完了。

(5) 元に戻す

ここまでの過程を戻れば組めますので、詳細の説明を省略し、組み戻しで要注意点のみ記載します。

(a)モータケースへの組込み

モータケースとエンドベルの黒マジックのマーキングが、合うように組み込みます。 (既に試運転で組み込んでいます。)

(b) モータにリード線の半田付け

赤色と白色のリード線が、逆にならないようにして半田付けします。

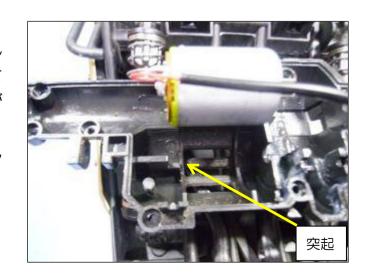
(c) ギアの取付けけ

シャフトにギアを挿入します。挿入にははハンマーや台など工夫して行います。

(d)後輪駆動ユニットの組立て

ギア類は元に位置に。モータは後輪駆動ユニットの底にある突起に注目し、モータのエンドベルの折り曲げ爪の溝に嵌めます。きっちり嵌まってないと、モータが傾き、ユニットケースの上下が合いません。

ユニットケース上下を合わせ、ネジ(タッピング 2.6X5)8本で留めます。



(e)連結アームのネジ留め

特殊段付きトラスネジ(高さ 16、ネジ部タッピング 3X6) 6本で留めます。

(f)タイヤの留め

左右タイヤをネジ (タッピング 3X10) 各1本で留めます。

完 了

終わり